

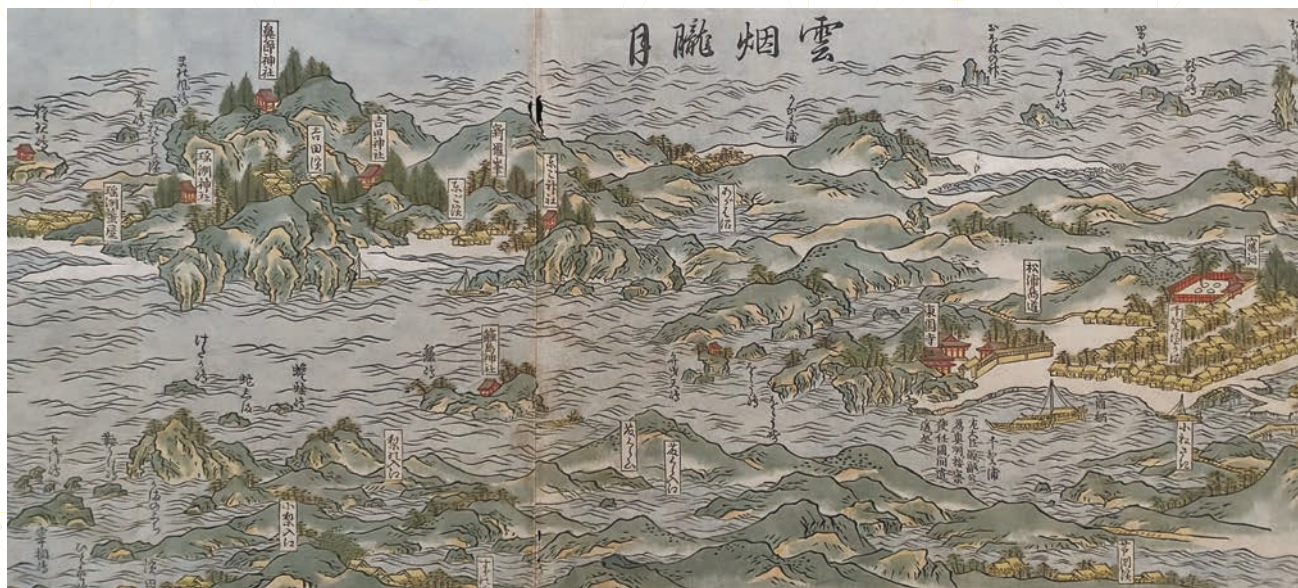
つた
伝えよう
いのち
命の尊さ
ほとけ
佛の心
こころ

花園会報 東園

令和4年10月1日発行
147号
宗教法人東園寺

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園



陸奥国塩竈松島図 佐久間洞巖
(作品解説は8ページ)

法縁各位におかれましては益々ご清祥の事と拝察申し上げます。日頃より當山の護持に関し、越格のご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、過日、安倍元総理が凶弾に倒れたことは我々日本人を震撼させた出来事となりました。先ずは安倍元総理の御霊の寧(やす)からんことをお祈り申し上げます。

図らずも、この惨事により炙り出されたかたちになった政治と某新宗教の関係。政教分離と言いながら集票力を持つ宗教団体と政治家の関わりは古くから知られるところで、今さら驚くまでもありません。但し、今回問題視されている団体は以前にも様々なトラブルを起こしており、保守系の政治家との密接な繋がりは、驚きを超えて畏怖すべきものがあるかと存じます。

20年以上前の事ですが、東園寺にキリスト教団体を名乗る組織から仙石線高架化工事で亡くなった朝鮮の方々の供養をして頂けないか、さらには当山による読経の他にキリスト教、神道による祈りを捧げる会場として本堂を提供して欲しいとの打診がありました。私はその趣旨に多いに賛同し、合同法要を行うつもりで準備していましたが、

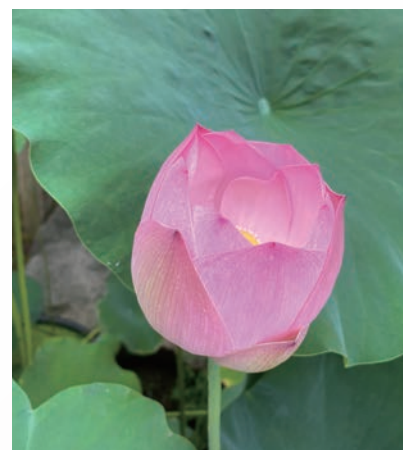
法要日程が決定してから頂いた団体紹介の冊子に某教団教祖の名を発見、さらに団体名をインターネット検索してみると某新宗教に直結する組織だった事が判明し、法要の世話人にこれを正すとあっさりその事実を認めましたので会場使用と法要実施を急遽断った事がありました。

法要中止の申し入れを聞いた世話人は弁明と予定通りの法要実施の懇願に訪れましたが、この教団の公式ホームページに釈尊に対する誹謗があり、当方が崇敬する仏陀教の教えを非合理的論理で中傷する団体に会場を提供するわけにはいかない事を申し上げ、法要直前ではありましたが、すべての計画の変更と全面的な謝罪を得る事が出来ました。

その教団のホームページには各所で同じような合同法要を営んで



いる事が、会場となった伝統仏教の寺院名と共に掲載されていました。場所を



提供した寺院の僧侶はきっと真面目な宗教者で真摯なお気持ちから法要を行ったのだと思うのですが、やはり様々なトラブルを抱える教団のホームページに寺院名を残す事は、それらの新宗教に誤った信用を与えるものであり、十分に注意せねばなりません。

信教の自由は日本国憲法で認められた大切な権利です。宗教団体が弾圧されたり、不当な差別を受ける事があったりしてはなりません。しかし、社会的な正義や基本的人権を脅かす団体は宗教と言えるかは十分に検討すべきです。オウム事件以来、新たな宗教法人は認めづらくなっています。宗教は、少なからずトラブルを有してい

ても、様々な形式を変えながら命脈を保っています。自己啓発や精神的な健康を謳う団体もあり、非常に巧妙になっているようです。問題がある教団でも簡単に法人解散などが出来ないのは周知の事実。皆様、どうかお気をつけください。

このように新宗教が蔓延するのは言うまでもなく、我々伝統教団の努力が足りないという事が第一の理由であり、特に既成仏教の僧侶は真摯に反省せねばなりません。「問題のある教団だとは分かっています、自分の悩みに応じてくれたのはここだけだったのです」。禅宗のお寺にも行きましたが、ただ坐れと言うばかりで。そもそも門を閉ざしているお寺が多いし。』その世話人と共に来山された信者の言葉です。東園寺は檀家が多く、一人一人の檀家さんに向き合うのが困難ではあります。皆様に安心してお参りして頂けるよう日々努力をしております。困ったときには菩提寺と先祖が眠る墓所を参拝されては如何でしょう。

行事報告

今年度もコロナ禍が続き、各法要や行事は感染防止対策を講じつつ行いました。3年言い続けていることではありますが、安心して行事を営める事が一日も早く来ることを念願しつつも、このパンデミックを通して学んだ事や合理化された事を活かして、今後の寺院活動を計画して参りたいと存じます。

■塩竈の恩人

四代藩主伊達綱村公毎歳忌宿忌

現在の鹽竈神社の社殿を建立し、貞享特令などを通して塩竈の発展に著しい功績を遺した四代藩主綱村公の毎歳忌宿忌(逮夜法要)が仙台伊達家十八代当主伊達泰宗様ご臨席のもと



四代藩主伊達綱村公毎歳忌宿忌

厳修されました。本年よりこの法要を学ぶの機会にしようと東北歴史博物館学芸員塩田達也先生による貞享特令に関する勉強会を併催致しました。

■精霊札(七如来名号) 開眼法要

先住精道和尚の命日に併せ、精霊札の開眼法要を営みました。



精霊札開眼法要

■精霊迎え法要

8月12日、皆様のご先祖をお迎えすると共に餓鬼幽霊を供養する大施餓鬼の法要が寺内僧侶と檀信徒有志により厳修されました。

■新亡供養

8月14日午前10時、正午、新亡供養が新型コロナウイルス感染症防止の為に二座に分散して厳修されました。



新亡供養

■戦死戦病没者供養並びに

世界平和祈願法要

戦死戦病没者供養並びに世界平和祈願法要が営まれ、有志により御霊の安からん事と世界恒久平和が祈願されました。



精霊迎え法要

■地蔵盆

8月25日、檀信徒より寄せられた精霊札を供養し、お盆の締め括りとなる法要が厳修されました。

■地蔵流し

本年の地蔵流しは参加者の大幅な減少の為に中止致しました。

■不動堂大祭

9月17日、岐阜県真言宗法華寺（三田洞弘法）林良恭師をお招きし護摩祈祷会が営まれました。



■ハワイ開教院大施餓鬼法要、開教師派遣

去る8月20日、ハワイ開教院にて開教院メンバーの新亡供養、同院先住職山口良三和尚の位牌開眼法要が厳修されました。旧知のメンバーそして山口和尚の息を集め旧交を温めました。やはり山口和尚のいない開教院は非常に寂しく、マウイ・カフルイ空港に着いた時から何とも言えない空虚感に苛まれる小柄でありました。改めて和尚の存在の大きさを感じさせられます。尚、今回の法要は、研



ハワイ開教院大施餓鬼法要

修の為に8月2日より開教院で監護をしていた瑞巖寺専門道場知客寮河北義崇禅士、小柄の徒弟である妙恵禅尼の加担により大禍無く営まれました。

話は変わりますが、山口和尚の遷化に伴い小柄が現在ハワイ開教院の兼務住職



となつています。幸にして数年ハワイの地で布教活動をしたという青年僧が現れ、現在宗教活動者ビザを取得すべく申請中です。岡本和尚、

大城和尚、東園寺先住、山口和尚と連綿と繋げられて来たマウイの禅を護持すると共に、より良い発展に寄与して欲しいものです。



100歳の長寿を迎えたヒガミツコ様が妙心寺より表彰されました。

寺庫紹介

雲居希膺禪師「法語」

六祖大鑑禪師曰く

自性平等、衆生は是れ佛

自心邪険なれば佛は是：

須らく信ずべし、迷う時は三界城、

疑うこと莫れ、悟りて後は十方空なり、

天堂、地獄、他土に非ず

都（すべ）て人心の善惡中に在り

花園寓松島瑞龍室内

希膺（花押）

六祖大鑑禪師とは達磨大師から数えて六

番目の祖師である慧能のこと。

「自性平等衆生は佛自心邪険佛是」は『六

祖大師法寶壇經』（付囑第十）からの引用

で「自性平等衆生は佛、自性邪険佛は衆生」

と続く。本作、本来は「是」の後に「衆生」

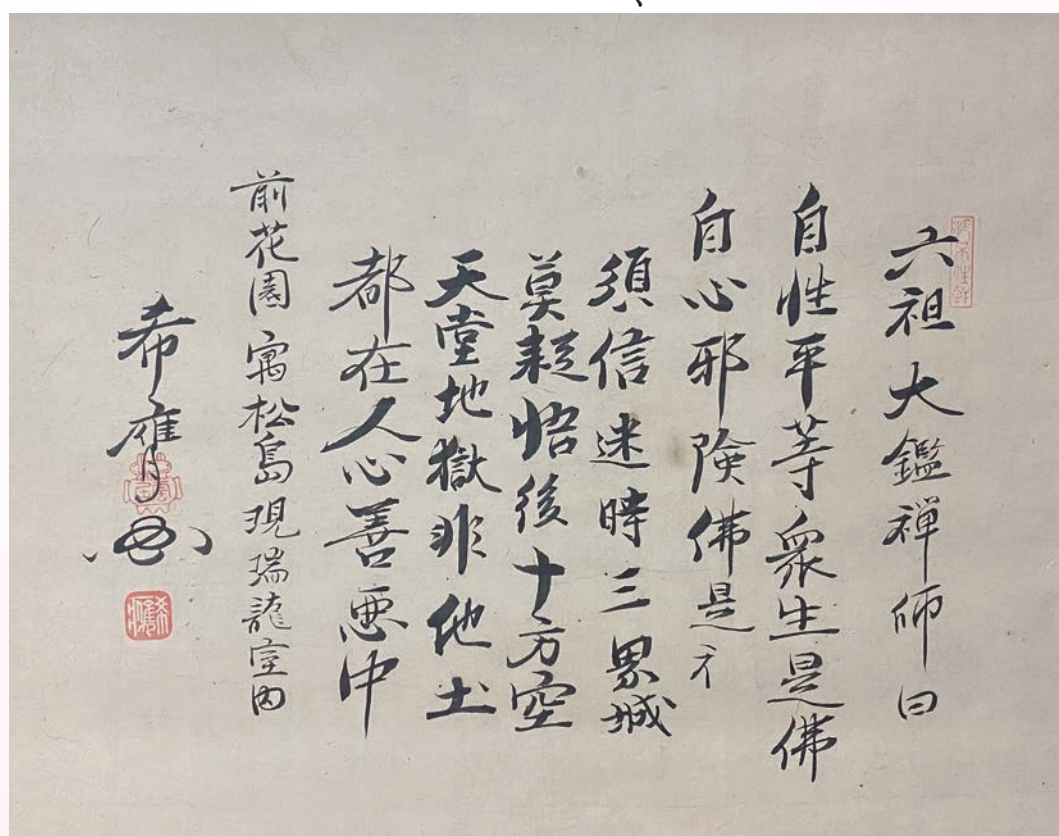
が入る筈であるが書き損じたのか筆を文字

の途中で止めています。

この六祖の言葉に対し雲居禪師の境地からコメントされたのが「須らく信ずべし、迷う時は三界城」という偈頌（げじゅ＝サンスクリット語のガータを訳したもので宗教的な詩を言います）の部分です。

これは雲居和尚年譜（大亀本）、寛永14年の項に記録される雄島において幽霊を救った際に、この幽霊に唱えられた詩として知られます。雲居禪師はこの偈頌がお気に入りと見えて、多少の文字の相違があるものの数点の類似自筆資料が伝えられています。「迷う時は三界城」とは人間迷いのどん底にある時は、四方を壁で回らした城の中に閉じ込められているようだとの意。天界も地獄もすべて善惡を生じる心の中にあるので、しっかりこれを調えなさいという趣旨の詩となっています。

署名の瑞龍室内とは雲居禪師が悟溪宗頼



（ごけい そうとん）禪師の塔所である岐阜瑞龍寺で書いたとの意。雲居禪師が請われて同寺復興の為に岐阜に赴き同地に滞在したのは正保元年4月16日から7月15日迄で禪師63歳。氣力体力ともに充実した時代

塩釜第二中央幼稚園



体育教室



遠足



スポーツクラス



入園式



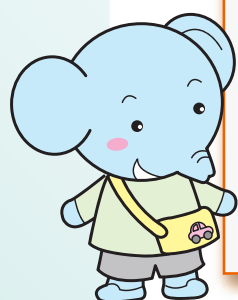
保育参観



Sしつゴンバス納車



卒園式



THE ZEN CLUB K&B GYM

東園寺研修センター内にある
スポーツクラブです。
東園寺檀信徒は入会金が免除になります。

お問合せ

利府町加瀬字野中沢 90-1
TEL022-356-7071



幼稚園だより

塩釜中央幼稚園



入園式



花祭り



遠足



盆踊り



プール教室



坐禅



卒園式



と言えます。ちなみに妙心寺派には大まかに4つの法の流れがあり、瑞巖寺や東園寺は悟溪禅師を祖とする東海派に属す。遠く岐阜の寺院が雲居禅師を頼りとしたのは、雲居禅師が東海派の重鎮であったからに他なりません。

陸奥国塩竈松島図(画像は1ページ)

佐久間洞巖 (さくまどうがん 1653～1736)

佐久間洞巖が元絵を描いた塩竈松島図。享保戊申は享保13年(1728)で塩竈と松島を山側から描く鳥瞰図はこの絵の構図を踏襲していると言われます。

佐久間洞巖は江戸時代前期から中期の儒者・画家・書家。名は義和。字は子巖。号の洞巖で知られます。別号は容軒・太白山人。幼名は梅之助。通称は彦四郎。

洞巖は仙台藩の国史の作成に関わり、多賀城碑の保存や研究にも携わっています。

東園寺・寺宝展 近世墨蹟と塩竈松島図展

令和4年12月9日～11日 8時30分～17時

拝観無料

主な展示作品

臨済禅師頂相(雲居希膺禅師賛)、達磨画賛(雲居希膺禅師賛)、栽松道人、猪頭和尚、蜆子和尚三幅対(大愚宗築賛) 達磨画賛(大

愚宗築賛、狩野興碩画)、一行書(愚堂東寔禅師)、法語(愚堂東寔禅師)

塩竈松島図屏風2双、塩竈図屏風2隻、陸奥国塩竈松島図(佐久間洞巖)

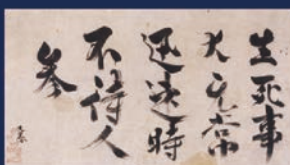
他、江戸初期墨蹟と塩竈松島絵図を中心として展示を予定しています。

東園寺・寺宝展

入場無料

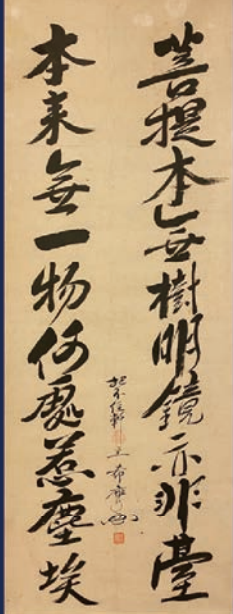
令和4年12月9日～11日 午前8時30分より午後5時

恒例の寺宝展 本年は江戸初期の墨蹟と塩竈松島に関連する書画を展示します
戦国時代から江戸初期を生き抜いた禅僧の書は質実にして剛毅 観るものの心に清涼感を与えます たった3日間の小展ですが是非ご来山ください。
東園寺住職 成也合掌



生死事大云々 大愚宗築

■主な展示作品：塩竈松島図屏風、塩竈松島、陸奥国塩竈松島図、近世墨蹟、貞享特令資料等 ■作者：伊達綱村、雲居希膺、愚堂東寔、大愚宗築、洞水東初、鵬雲東博、大須義猷、鐵牛追機等



六祖無相頌 雲居希膺



塩竈松島屏風